

インターナショナルギフトショー

島根の4団体企業出品

東京ビッグサイト

日本最大のギフト・生活雑貨の見本市「東京インターナショナルギフトショー」が5日、東京・有明の東京ビッグサイトで始まった。

同財団は子ども用の遊べる家具5種類のほか、地元産のヒノキでスギを挟んだ三層構造のオリジナル厚板を展示。高城琢馬技術員は「断面の色合いがどう

評価されるかという市場調査が目的。既に引き合いの提案があった」と手応えを話す。

おかや木芸（出雲市）、火の川焼松江陶苑（松江市）、陶風舎

（同）の3工房による「島根FOM」は、松



多くのバイヤーでにぎわう島根県内の工芸作品を紹介するブース―東京・有明、東京ビッグサイト

江の窯と出雲黒柿をテーマに陶器や木工品など約150点を出品。竹材を平板化する独自技術を開発したウッドスタイル（松江市）も、トレーや名刺入れなどを販売している。

県内の若手工芸職人らでつくるグループ「シマネRプロダクト」は会員6人の作品を紹介。鍛冶、木工芸、白磁の作家3人が共同制作した新作「鍛鉄花器セット」も発表した。

77回目となる見本市には国内外の約2500社が出展。7日までの期間中、約20万人の来場を見込んでいる。

島根県内からは県西部山村振興財団（浜田市）

同財団は子ども用の遊べる家具5種類のほ

き合いの提案があっ

た」と手応えを話す。おかや木芸（出雲市）、火の川焼松江陶苑（松江市）、陶風舎

（同）の3工房による「島根FOM」は、松